

2023年12月20日

株式会社トクヤマ

非化石燃料の利用拡大に向け ブラックペレット(BP)の開発用パイロットプラントを建設

株式会社トクヤマ(本部:東京都千代田区、社長:横田 浩)は、オランダのベンチャー企業 Yilkins Drying Solutions 社の技術を導入し、徳山製造所(山口県周南市)に、ブラックペレット(以下 BP)の開発用パイロットプラントを建設いたします。

当社は、中期経営計画 2025 の重点課題として「地球温暖化防止への貢献」を掲げ、GHG 排出量を 2030 年度に 2019 年度比 30%削減することを目指しています。特に GHG 排出量の多い自家発電所においては、非化石燃料への燃料転換に取り組んでおり、BP の自社開発はその一環の位置づけです。

世界的な脱炭素の潮流により、国際認証を得たバイオマス燃料は、将来的に需給のひっ迫が想定されています。当社は、このパイロットプラントの活用により、非可食原料から高品質な BP を自ら生産し、安定調達を図ることを目指してまいります。

【計画概要】

- 名称: バイオマス燃料化パイロットプラント
- 完成予定: 2025年10月(予定)
- BP 製造能力: 500kg/時間

以上

【参考】

ブラックペレット(写真右):

バイオマスを低酸素状態で加熱処理し、石炭の性状に近づけたペレットのこと。通常の木質バイオマス(ホワイトペレット)に比べ、一般的にエネルギー密度が 20%程度高いといわれている。



《本件に関するお問い合わせ先》
株式会社トクヤマ 広報・IRグループ
(東京) 03-5207-2552